

学校だより



うっとりしい梅雨にあって、色とりどりのあじさいが気持ちを和らげてくれます。

さて、長いと思っていた1学期も最後の7月を迎え、まとめの時期となりました。振り返ると1学期は、遠足や運動会、山の学習や校外学習等の様々な行事や学習がありました。また、入学や進級して日々新しい学習内容に取り組んだり、友達との関わりの中で生活したりしてきました。こうした中で、子どもたちは多くのことを学び、成長してきました。

今月はこれらのまとめとして、学習面では獲得した知識や身に付けた力の定着を図ると共に、生活面では「できるようになったこと」と「まだできていないこと」を振り返って自覚させ、次の目標を立てさせたいと考えています。1学期のお子様の様子につきましては、個人懇談や通知表でお知らせします。力が伸びてきたことやこれからの課題等を含め、お子様のより良い成長のために一緒に考える時間にしたいと考えています。ご多用とは思いますが、ご参加をよろしくお願いいたします。



7月の生活目標「務めを最後まで果たす」

本校の教育目標の一つに、「よく働き最後までがんばる子ども」があります。学校・学級で子どもたちは、日直や係の仕事、給食や掃除の当番、委員会の活動等で役割をもって生活し、みんなのために働いています。これは、将来、社会生活を送る上での基礎になるものです。「何を」「何のために」「どのようにして」という目的意識をもたせ、最後まで取り組むことができるよう、今後も子どもたちに指導や支援をしていきたいと考えています。そして、子どもたちにやりとげたという達成感や満足感を体験させ、次への「やる気」につなげていきたいと思ひます。ご家庭でも同様によろしくお願ひします。



【勉強とは…】

「学校は何をやる場所ですか？」こう問うと「勉強する場所です。」と、ほとんどの子どもは答えるでしょう。では、「勉強とは何ですか？」と問うとどうでしょう。「計算ができるようになること」「漢字を読んだり書いたりできるようになること」「教科書に書かれていることが分かるようになること」「水泳が…」「リコーダーが…。どれも間違いではなく、全て勉強の一要素ではあります。

辞書で引くと、「勉強」とは、「学問や芸芸などを学ぶこと」ですが、それぞれの漢字を調べると、「勉」は「努力する」、「強」は「うまくできる」という意味があります。つまり、うまくできるようになるために努力するということになります。**何の努力もしないでうまくはなれません。うまくなるための努力なら少しくらい辛くても頑張れるはずで**す。こう説明されると、子どもにとって耳に優しく、受け入れられやすいものになります。

でも、「強」には別の読み方があります。それは、「しいる」です。そうすると「勉強」とは、努力することを強いるという意味になります。小学校に入学して間もなくは、勉強が好きだった子どもが多いはずで、それは、うまくなるために頑張ることが楽しかったからでしょう。しかし、時がたつにつれて、勉強が辛いと感じるようになるのは、努力を強いられていると感じることが多くなったからではないでしょうか。「さっさと勉強しなさい！」「もっと勉強しなさい！」「勉強しないと…」。

誰も強くなりたいはずで、頭も、体も、そして心も。もう一度「勉強」の最初の意味を子どもたちに思い出させ、意識させ、頑張りを応援していきましょう。

